



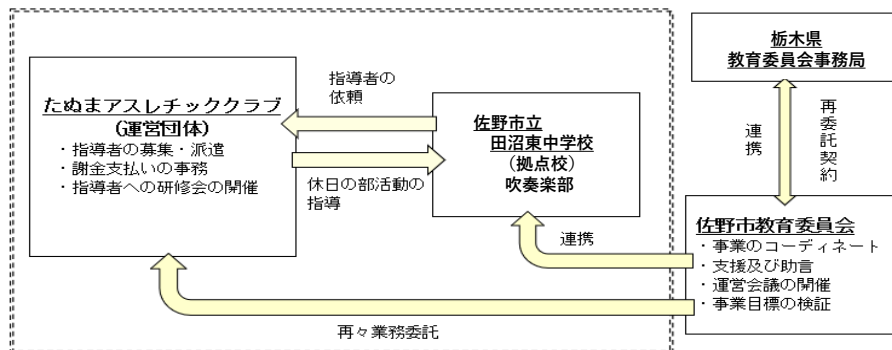
No.3

栃木県佐野市

I. 基本情報

- 運営主体： 特定非営利活動法人ためまアスレチッククラブ
- 事業目標： ○ 対象となる部活動教員の時間外勤務総時間数の削減
 ○ 生徒の意欲や技術の向上
 ○ 中学生の文化部活動を地域が担うことのできる指導体制の構築
 ○ 運動部活動と文化部活動の一体的な地域移行

団体・組織等の連携



主な活動種別

吹奏楽

運営形態 (工)

地域移行

< 地域スポーツ団体等運営型 >

活動場所

・佐野市立田沼東中学校音楽室

鍵、校舎管理の工夫・現状 (活動場所が学校の場合)

・吹奏楽部以外の運動部を含めた計12の部活動を、学校部活動と地域部活動の2つのグループに分けて実施し、学校部活動の指導に当たる教員が学校施設管理に係る対応を行う体制を整えた。

参加生徒の基本情報

・人数： 田沼東中学校 21人
 ・活動日： 土日のどちらか1日
 ※月に2回、1回当たり
 の活動時間は3時間程度

指導者の基本情報

地域の吹奏楽経験者
 1名 1,500円/時間

指導者の募集方法

吹奏楽の指導実績のある候補者を、中学校から推薦してもらった。

活動財源

部費 5,000円/年
 メンテナンス個人費用 4,000円/年
 文化庁事業委託費 35万円

II. 活動概要

1 拠点校における吹奏楽部の活動概要 (令和3年度から継続)

- 教員が部活動に従事する日数・時間
 - ・平日の活動日数
週4日 (水曜日を除く、1～2時間程度)
※11月～2月の冬期は活動時間短縮
 - ・休日の活動日数
週1日 (土日のどちらか1日、3時間程度)
- 地域部活動の指導日数・時間等
 - ・地域指導者数 1名 ・指導日数 12日
5月：実施なし 6月：1日 7月：1日
8月：1日 9月：2日 10月：2日
11月：2日 12月：1日 1月：2日
・指導時間 3時間程度 (1回当たり)

2 栃木県における活動概要

- 部活動改革検討委員会の開催 (年2回)
 - ・実践研究拠点校における取組状況の確認
 - ・本県における部活動の地域移行に係る課題の把握
 - ・本県における部活動の地域移行に係る推進計画の検討
 - 部活動の地域移行に係る情報提供
 - ・各市町対象説明会の実施 (年間20回)
- ※ 運動部活動の地域移行主管課である、教育委員会事務局スポーツ振興課と合同で実施

III. 成果・課題

本事業による成果

- 教員
 - ・教材研究の時間が増えた。
 - ・地域指導者から、吹奏楽の指導方法について学ぶことが多い。
 - ・部活動を効率良く実施しようという機運が高まっている。
- 生徒
 - ・地域指導者の指導は、専門的で分かりやすいと感じている。
- 地域指導者
 - ・生徒の意欲や演奏技能の向上を感じている。
- 保護者
 - ・専門的知識を有する地域指導者から指導を受けられることは良いことであると感じている。

指導、運営上の工夫

- 実践体制について
 - ・教員と地域指導者が、活動状況や活動内容について情報を共有する機会を設定した。
 - ・欠席生徒がいた場合の保護者への連絡手段や方法、地域指導者が急用等で指導に参加できない場合の連絡体制や対応について、学校、保護者、地域指導者間で事前に確認した。
 - ・緊急対応マニュアルを基に地域指導者と緊急時の対応について確認した。
- 説明会の実施
 - ・学校が主体となって実態に応じた説明を行い、生徒や保護者の理解促進を図った。

見えてきた課題 今後に向けた方針・方向性

- 施設管理
 - ・学校施設の利用や管理方法について、学校の設置者が検討し、対応方針を明らかにする。
- 指導者の確保
 - ・兼職兼業制度の運用方針を明確にする。
 - ・文化芸術団体を所管する部局と連携し、指導者を確保する。
- 費用の受益者負担
 - ・一部の部活動のみが地域に移行した段階で受益者負担を求めた場合、不公平感が生じることが想定される。そのため、自治体内における全ての公立中学校部活動の地域移行後に、受益者負担を求めることが適切との指摘がある。